馬印青梅情報 2023年第1号

2023年3月8日発行

おうち時間で堅調に増える手仕事需要

今年も梅の時期が近づいてきました。少人数で楽しめる手仕事の傾向にあります。昨年は梅の出荷が例年より遅く、氷砂糖の販売は苦戦しました。

①決まりの作柄は大きく３つ時期で致します。

②２月３日の梅の開花とミツバチの受粉期間

③６月５日の梅の身太りの期間

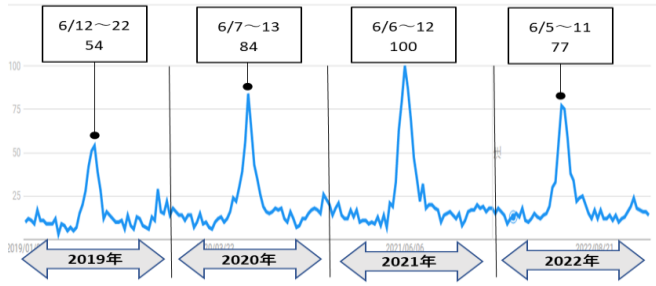
チェックポイント

前年と比べ氷砂糖の高騰が目立ちました。

昨年は氷砂糖の需要が増え、コロナ禍で観光客が減少しました。

今年は氷砂糖の高騰が影響し、関連商品の検索が継続してされています。

■Googleトレンド「氷砂糖」検索率（2019/1/1～2022/12/31）



Google 過去4年間の検索の動向を確認（過去4年の氷砂糖検索トップを100として計算）

梅の受粉とミツバチの関係

梅は自家受粉出来ず蜂に手伝ってもらうしかありません。その為、蜂の活性が受粉に大きな影響を与えます。気温12度以上、風速３ｍ以下で雨が降っていない状況だと蜂が活発に活動すると言われており、開花後の気候が大きく関わってきます。

和歌山の梅の状況

【蕾】着蕾（ちゃくらい）数調査の結果は南高が前年・平年並みになります。今後、開花、受粉、果実肥大、生理落果などの要素があり、最終的に実として収穫されるのは10％前後です。気温、風速、降水量等の気象条件に左右される為現時点で明確な予測は出来ません。

【開花状況】地域によりばらつきはありますが、開花時期は例年に比べ一週間ほど遅めになりました。その後は天気も受粉状況も良好です。順調に受粉期間を経過しています。

【出荷見通し】青梅として市場に出回るのは全収穫量の一割程度となっております。前述の通りミツバチの活動が順調なため、収穫量が多くなることを期待しています。農家の売上確保の為、量販店での青梅の販売量は確保されると思われます。

【写真】２月27日撮影。（みなべ町）

青梅収穫情報判断の参考

中日本氷糖株調査

年度	結果樹面積（ha）	梅収穫量（t）	氷糖出荷（t）	気象情勢 温暖○ 寒冷◎ 1月	2月	3月	4月	満開時期 和歌山県 1月	2月	3月	群馬県 1月	2月	3月	備考
2017年	15,100	86,800	13,690	◎	◎	○	◎		中旬				中旬	不作型
2018年	14,800	112,400	15,008	◎	◎	○	○		下旬				中旬	平年型
2019年	14,500	88,100	14,899	○	○	◎	◎		中旬				上旬	不作型
2020年	14,100	71,110	13,444	○	○	◎	◎		上旬				上旬	不作型
2021年	13,800	104,600	15,460	◎	○	○	○		中旬				中旬	豊作型
2022年	13,500	96,600	14,752	○	○	○	◎		下旬				中旬	不作型
2023年				○					下旬					

氷砂糖の販売価格

量販店様販売価格は下記を参考にご案内お願いします。

２０２３年度シーズン売価予想（税抜）

ロック	４１８～４５８円
クリスタル	４１８～４５８円

今後とも馬印の氷砂糖を
宜しくお願い致します。

中日本氷糖株式会社
URL：http://www.nakahyo.co.jp
インスタグラムアカウント nakanipponhyoto